

# 読んでごらん おとしりいよ



2023

図書目録「**読んでごらんおもしろいよ**」2023 (58 号) をおくります。

このなかにある本のほかにも、おもしろい本、楽しい本が、たくさんあると思いますが、みなさんがどんな本を読もうかなとまよったとき、この目録を役立ててください。

これらの本は市立図書館や、みなさんの学校図書館にもあります。

1. 令和3年(2021年)11月から令和4年(2022年)10月に発行された本の中から、絵本と読みものを中心に75点選んでいます。
2. 配列は対象別に、書名の50音順になっています。
3. 対象別にわけてありますが、これはめやすです。
4. 目録は書名・著者・出版社・頁数・大きさ・本体価格の順に書いてあります。
5. 本体価格は令和4年(2022年)12月現在のものです。

❖幼児から❖.....

(1) あなたにあいたい

宮野聡子 作

教育画劇 32P 24 × 24cm 1,300 円 〔創作絵本〕

動物たちが集まる小さな休憩所。伝言板の文字は半分消えて  
いるが、“あいたい”と書かれている。草かげからかあさんか  
えるが「わたしはふもとのいけにいるこどもたちにあいたい  
わ」そこへ、いたちもやってきて「ぼくがあいたいのは……」



(2) いっしょにいこう

ルース・リップハーゲン 作 木坂涼 訳

マイクロマガジン社 40P 27×22cm 1,400円 [創作絵本]

パパに届いた手紙は今夜のコンサートの招待状。急げばきっと間にあはず。でもコーディは虫や水たまり、ワニに似た棒が気になるみたい。池では、きれいな泡を数えてみる。するとパパが「あわにはちがづくな！そのあわをだしているのは……」



(3) おとうとがおおきくなったら

ソフィー・ラグーナ 文 ジュディ・ワトソン 絵 当麻ゆか 記

徳間書店 34P 30×23cm 1,600円 〔創作絵本〕

ぼくのおとうとのテオは、まだあかちゃん。テオがおおきくなったら、ふたりでじてんしゃにのってジャングルへいこう。木のしたのほらあながひみつきち。もっとおおきくなったら、ボートにのって、うみへでよう。テオ、はやくおおきくなってね。



(4) おにたくんのおにぎり

はしもとえつよ 作・絵

ひさかたチャイルド 31P 25×22cm 1,300円 [創作絵本]

おにたくんのお父<sup>とう</sup>さんはおにぎりやさん。たくさんの人<sup>ひと</sup>に  
食<sup>た</sup>べてほしくて雲<sup>くも</sup>の上<sup>うへ</sup>からやってきた。だけど、まちの人たち  
は怖<sup>こわ</sup>がっておにぎりを食<sup>く</sup>べない。「おとうさんにまかせとけ！」  
楽<sup>たの</sup>しそうににぎるお父<sup>み</sup>さんを見て、おにぎりは大人<sup>だいじん</sup>気に！



(5) おまえたち、くっちゃうぞ〜！ 一わにがめのアルとちいさなさかなたち一

ジョン・ヘア 作 万木森玲 訳  
岩崎書店 41P 25 × 25cm 1,600 円 〔創作絵本〕

わにがめのアルは、今朝も魚をとり<sup>け さ</sup>にでかけた。池<sup>いけ</sup>の底<sup>そこ</sup>に潜<sup>もぐ</sup>っていつもの場所<sup>ばしょ</sup>に座<sup>すわ</sup>ると、口<sup>くち</sup>をぐわ〜んと大きく開<sup>あ</sup>けて動<sup>うご</sup>かない。アルのべろはミミズに見<sup>み</sup>える。「おいしそうなミミズだ！」小<sup>ちい</sup>さな魚<sup>ちか</sup>が近<sup>ちか</sup>づいてきた。こんな小<sup>ちい</sup>さいやつだけか……。



(6) かつこいいな しょうぼうし

横浜市消防局 監修 山崎友也 写真撮影 モリナガ・ヨウ イラスト  
ひさかたチャイルド 27P 21 × 24cm 1,300 円 〔写真絵本〕

火事<sup>かじ</sup>だ！ ウーカン！ カン！ カン！ 消防自動車<sup>しょうぼうじどうしゃ</sup>からおりたのは消防士<sup>しょうぼうし</sup>。消防士<sup>しょうぼうし</sup>はみんなの命<sup>いのち</sup>を守るため、力<sup>ちから</sup>をあわせてはたらいているよ。火<sup>ひ</sup>を消<sup>け</sup>したら消防士<sup>しょうぼうし</sup>の仕事<sup>しごと</sup>は終わりなの？ 毎日<sup>まいにち</sup>どんなことをしているのかな？ 消防士<sup>しょうぼうし</sup>の一日<sup>いちにち</sup>をみてみよう。



(7) かみなり

武田康男 監修・写真 小杉みのり 構成・文  
岩崎書店 33P 22 × 21cm 1,300 円 〔写真絵本〕

空<sup>そら</sup>にぽっかりうかんだまるいわた雲<sup>ぐも</sup>は、むし暑い日<sup>あつ ひ</sup>、湿<sup>しめ</sup>った風<sup>かぜ</sup>をすいこんで背<sup>せ</sup>がのびる。まわりの雲<sup>ぐも</sup>もすいこんでみるみるうちに入道雲<sup>にゅうどうぐも</sup>になる。入道雲<sup>にゅうどうぐも</sup>がさらに大きくな<sup>お</sup>ってかみなり雲<sup>かみなり</sup>になる。ゴロゴロ…ドーン…かみなりは雲<sup>なかに</sup>の中で生まれるんだ。



(8) きつねとぶどう ーイソップねずみのイソップものがたりー

イソップ 原作 しもかわらゆみ 文・絵  
あかね書房 25P 22 × 23cm 1,300 円 〔昔話絵本〕

おはなし上手なねずみのイソップ。子ねずみ<sup>こねずみ</sup>たちにねだられて、とくいそうに話<sup>はな</sup>しはじめた。——ある日<sup>ひ</sup>、はらぺこのきつねがぶどうをみつ<sup>み</sup>けた。つやつやしたぶどう<sup>ぶどう</sup>だった。「うわあ！ おいしそう」えいっ！ やあっ！ どうしても届<sup>とど</sup>かない。



(9) グスタボははずかしがりやのゆうれい

フラビア・Z・ドラゴ 作 青山南 訳  
ワイズ・インフィニティ 36P 30 × 26cm 1,600 円 〔創作絵本〕

グスタボははずかしがりやのゆうれい。ゆうきがなくて、ほかのかいぶつに話<sup>はな</sup>しかけられない。なんとかちかづこうと<sup>き</sup>はする。でもだれも気がついてくれない。ほんとうはみんなのなかま<sup>なかに</sup>になりたいのに。そこで心<sup>こころ</sup>をこめててがみをかくことにした。



# (10) コンビニでんちょうネコイチさん

ヤスダユミコ さく むとうゆういち さく まつもとまや え  
PHP 研究所 32P 26 × 20cm 1,300 円 〔創作絵本〕

動物<sup>どうぶつ</sup>さんのほしいものが<sup>おやこ</sup>なんでもあるニヤニヤマート。店長<sup>てんちょう</sup>はネコイチさん。パンダの親子はサササンド、カブトムシさんはスイカのおうちをおかいあげ。夜<sup>よる</sup>にやってきたのは……。[あの、おながいがいたくなるクスリをください]「ニャ?ニャ?」



# (11) たすけてー

りとうようい 作・絵  
金の星社 24P 21 × 29cm 1,400 円 〔創作絵本〕

イボイノシシのかあちゃんには、にひきのかわいいぼうやがいる。「うまそうなぼうやだな」ハイエナがぼうやたちをおそってきた。「かあちゃん! たすけてー」「いまいくわー!」かあちゃんはひるまずけちらしていく。トトトト、トトト!



# (12) たんぽぼのちいさいたねこちゃん

なかやみわ 作・絵  
Gakken (学研教育みらい) 32P 21 × 30cm 1,200 円 〔創作絵本〕

たんぽぼの種<sup>たね</sup>の兄弟<sup>きょうだい</sup>たちが、空<sup>そら</sup>にとびたつことになった。「むりよ、むり! わたしのわたげはちいさいし、たねもちいさいもの」と、末っ子<sup>すえこ</sup>のたねこちゃん。みんなが空へとんで行ったあと、ひとりぽつん。「わたしはどこにもいかないわ」



# (13) とびらのむこうにドラゴンなんびき?

ヴァージニア・カール 作・絵 松井るり子 訳  
徳間書店 32P 26 × 21cm 1,500 円 〔創作絵本〕

13人のお姫様の末っ子<sup>ひめさま すえこ</sup>ガンヒルダが森<sup>もり</sup>でなかよくなったドラゴン。お姫様たちは、お城<sup>しろ</sup>の高い塔<sup>たか</sup>にこっそりつめ<sup>とう</sup>り帰り、内緒<sup>かえ</sup>で食べ物<sup>た</sup>を運<sup>お</sup>んでや<sup>はこ</sup>った。ある晩、お母さん<sup>はは</sup>に見<sup>み</sup>つかって塔<sup>た</sup>から出<sup>で</sup>そうとしたけれど、大き<sup>おお</sup>くなりすぎたドラゴンは……。



# (14) ともだち

くすのきしげのり 作 よしむらめぐ 絵  
小学館 32P 21 × 24cm 1,500 円 〔創作絵本〕

となりに男<sup>おとこ</sup>の子<sup>こ</sup>がひっこしてきた。ごあいさつしなくちゃ。みずきは「こんにちば」と言<sup>い</sup>ったけど男<sup>おとこ</sup>の子<sup>こ</sup>はしらんかお。とびきり大きな声<sup>こえ</sup>で言<sup>い</sup>ひつけたらみずきは気づいた。男<sup>おとこ</sup>の子<sup>こ</sup>はにこっとわらうと、両手<sup>りょうて</sup>の人<sup>ひと</sup>差し指<sup>さしゆび</sup>を曲<sup>ま</sup>げた。なにやってるの?



(15) ぬいぐるみきゅうじょたい

ティエリー・ロブレヒト 文 デイヴィッド・B.ドレイパー 絵 川野 太郎 訳  
岩崎書店 27P 29×23cm 1,300円 〔創作絵本〕

まいごになったぬいぐるみのクマくん。みぎうでがやぶけて  
くるま じどうしゃ おお  
 いる。車に自転車、大きなまちにはあぶないものがいっぱいだ。  
はや  
 早くたすけてあげなくちゃ！ぬいぐるみきゅうじょたいのネ  
 ズミたちがかけつけて、クマくんはぬいぐるみびょういんへ。



❖小学１・２年から❖・・・・・・・・・・・・・・・・

(16) イカにんじゅつ<sup>どうじょう</sup>道場 ーただいま弟子<sup>でし</sup>ぼしゅうちゅうー

香桃もこ 作 岡田よしたか 絵  
福音館書店 56P 22cm 1,100 円 〔日本文学〕

せっしゃは、にんじゃでござる。しゅぎょうをつみかさね、にんじゅつをきわめた。そして道場をひらくことにしたのでござる。その名も、「イカにんじゅつ道場」。しかし、なかなか弟子がこない。そこへ、「たのもう」とすずしげなこえがした。



(17) いもうとなんかいらない

ロイス・ダンカン 作 小宮由 訳 平澤朋子 画  
岩波書店 62P 22cm 1,300 円 [外国文学]

メアリー・ケイは、えがおのかわいいちい小さいもうとのスザンヌをすきになれないときがあった。「どこにでもついてきて、いつでもあたしのじゃまをするんだから！」スザンヌをなんとかしなきゃ……。『そうだ、だれかにあげちゃおう』



(18) <sup>おう</sup>王さまのおうごんのひげ

クラス・フェルプランケ 作 岡野佳 訳  
化学同人 38P 31×25cm 2,000円 [創作絵本]

『王さまのひげをきってはいけない』『王さまがい、だれもひげをはやしてはいけない』じぶんのうつくしいひげをまもるため、王さまはとくべつな法律をつくった。ある日、みはりのへいしがさげんだ。「あやしいひげがあらわれました！」

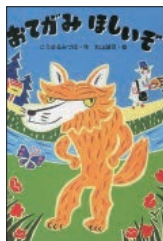




## (19) おてがみほしいぞ

こうまるみづほ 作 丸山誠司 画  
あかね書房 79P 22cm 1,000円 〔日本文学〕

「わあい。おばあちゃんからだ」「すごーい。パーティーのしょうたいじょうだ」てがみをもらってよろこぶ、もりのどうぶつたち。「てがみて、もらうとあんなにうれしいのか。おれももらってみたいなあ」オオカミのギロンは、いいことをおもいついた。



## (20) かえるのほんや

やぎたみこ 作・絵  
PHP 研究所 32P 26 × 20cm 1,300円 〔創作絵本〕

かえるのほんやにあるほんは、ぜんぶてづくり。さっかのかえるたちは「ハンモックでねていたらじけんがおこるおはなし」をかんがえている。でも、そのじけんがおもいつかない。そこで、ハンモックでひるねをしてみたたら……なにかがちかづいてきた。



## (21) かみなり

妹尾堅一郎 監修 音羽電機工業「雷写真コンテスト」協力  
ポプラ社 38P 21cm 1,600円 〔かみなり〕

とおくのかみなりはゴロゴロ。ちかくのかみなりはバリバリ。こわいけれどジグザグはしる光はきれい。かみなりは、じめんにおちるだけでなく、くものあいだをすすんだり、とんでいるひこうきにおちることも。かみなりっていったいどんなもののなの？



## (22) 給食室のいちにち

きゅうしょくしつ  
大塚菜生 文 イシヤマアズサ 絵  
少年写真新聞社 36P 26 × 22cm 1,700円 〔創作絵本〕

大きなかま、大きなしゃもじ、大きなおたま。給食室には、おうちのキッチンにはないものがいっぱい。今日のメニューはカレーライス。みんなのだいすきなカレーライスは、どうやってつくられているのかな。そのひみつをさぐってみよう。



## (23) げたばこかいぎ

村上しいこ 作 高畠那生 絵  
PHP 研究所 79P 22cm 1,200円 〔日本文学〕

「はるとくん、おきてください」はるとはスニーカーによばれて、げたばこかいぎにでることに。げたばこの中には広い部屋。大きなまあいテーブルをかこんで、家族みんなのくつがすわっている。「まず、パパのかわぐつがくさいと苦情がきています」



## (24) けんかのたね

ラッセル・ホーバン 作 小宮由 訳 大野八生 画  
岩波書店 62P 22cm 1,300 円 〔外国文学〕

ある日、お父さん<sup>ひ</sup>が<sup>とう</sup>かえ<sup>い</sup>てくると、家の中は<sup>い</sup>は<sup>え</sup>は<sup>な</sup>は<sup>か</sup>は<sup>お</sup>さわぎ。  
いぬはねこをおい<sup>に</sup>まわし、4人きょうだいは大げんか。「おいおい、  
いったいどうしたんだ」すえっこのいいぶんから、けんかのげ  
んいんは、ねこのプスということに。でも、ほんとうは……。



## (25) こうもり

アヤ井アキコ 作 福井大 監修  
偕成社 40P 26 × 22cm 1,500 円 〔知識絵本〕

空をとぶことのできる、ゆい<sup>えんだま</sup>いつのほにゆうい、こうも  
り。たいじゅうは、1円玉5まいから10まい<sup>むし</sup>くらいのおもさ。  
とてもかるい。くらやみでも、<sup>こえ</sup>声をつかつて虫を見つ<sup>み</sup>けるこ  
とができるんだって。こうもりのひみつをのぞいてみよう。



## (26) なぞなぞでおばけやしきたんけん

石津ちひろ 文 大島妙子 絵  
アリス館 32P 22 × 26cm 1,400 円 〔創作絵本〕

おばけがすきなふうた。「うちには、ゆかいななかまがおおぜい  
おるよ」とおばあちゃんからてがみ。あそびにいくと、とらねこ  
がまっていた。「あんないしてやるからついてきな。ただし、なぞ  
なぞにこたえられなかったら、さきにはすすめないからニヤ〜」



## (27) びんにいれてごらん

デボラ・マルセロ 作 なががわちひろ 訳  
光村教育図書 33P 29 × 22cm 1,500 円 〔創作絵本〕

はな、とりのはね、ハートのかたちのこいし。すてきなものを  
びんにいれてあつめているルウェリン。あるひのゆうがた、エブ  
リンとであう。ともだちになったふたりは、いっしょにきれいな  
けしきやたのしいおもいでをびんにあつめてい<sup>い</sup>くけれど……。



## (28) ペンギンたんけんたい ーみなみのしまー

斉藤洋 作 高畠純 絵  
講談社 32P 19 × 27cm 1,500 円 〔創作絵本〕

みなみのしまにやってきた、ペンギンたんけんたい。ライオン  
やニシキヘビにであっても、えんやらどっこい。えんやらどっこ  
い。ペンギンたんけんたいは、すすむのだ。ひろいかわをわたり、  
さかをのぼり、とうとうやまのてっぺんに。……と、そのとき！





(29) やまだめいたちのえにつき

山田美津子 作

理論社 64P 21cm 1,300 円〔日本文学〕

「えにつき、やりたくなーい。かくことないもん」金よう日に  
 出たしゅくだい。「あーあ、だれかかわりにかいてくれないかな  
 あ」ごろんとねころび、ねむってしまっためいちゃん。目をさ  
 ますと、かいたおぼえのないえにつきが……。 「なに、これ？」



(30) ヨルとよる

あさのますみ 作 よしむらめぐ 絵

教育画劇 32P 29×22cm 1,400円 [創作絵本]

「よるってまっくらでしずかでねむるものでしょ」「よるってまぶしくてにぎやかでおいしいもんだよ」そとにでたことがないねこのヨルと、いえでくらしことがないネズミは、くびをかしげた。やがてネズミがいった。「おれがよるのまちをみせてやるよ」



**❖小学３・４年から❖**

(31) うちのおかあちゃん

小手鞠るい 作 こしだミカ 絵

偕成社 32P 27×23cm 1,300円 [創作絵本]

うちのおかあちゃんは、目がわるい。目の手術に失敗して、すこしずつ見えなくなってきた。けれど、耳がいい。ささやき声、ないしょ話、かすかな音まで聞こえる。「あたしの耳にはな、まりえが心のなかでつぶやいた声まで、きこえとるんよ」



(32) えんぴつはだまってて

あんずゆき 作 たごもりのりこ 画

文溪堂 127P 22cm 1,400 円 [日本文学]

エリカは、学校でえんぴつをひろった。すてちゃおうと思っ  
たら、どこからか声がした……気がした。「すてたら、あかん  
え？あたりを見ても、だれもない。おかしいなあ。その夜、  
へんな声で目がさめた。「こんなとこ、いやや」「はよ、だして～」

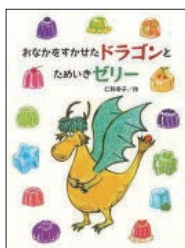


(33) おなかをすかせたドラゴンとためいきゼリー

仁科幸子 作

あすなろ書房 77P 21cm 1,300円 [日本文学]

ある日、黒ネコは、おなかをすかせたドラゴンに出会う。パンケーキを持っていても、食べようもしない。「弱ったなあ……」黒ネコはためいきをついた。ドラゴンはそのためいきをすいこみ「はあ、助かった」ドラゴンの好物は『ためいき』だった。



(34) <sup>やま</sup>お山のライチョウ

戸塚学 写真・文 小宮輝之 監修

偕成社 40P 26cm 1.600 円 [ライチョウ]

たか 高い山だけにすむライチョウは、神様の使い、神の鳥として  
たいせい 大切にされてきた。写真を撮りたくなつたばかりが、富山県の立山  
い み へ行っても見あたらず……山小屋へもどろうとしたとき、手をの  
ばせばさわれそうな距離に。このあたりに、撮影を続けている。



(35) **すごいゴミのはなし** —<sup>せいそういん</sup>ゴミ清掃員<sup>ねんかん</sup> 10年間やってみた。—

滝沢秀一文 スケラッコ 萩原まお イラスト

Gakken (学研プラス) 127P 22cm 1,300円 [ゴミ]

ばくは<sup>たきざわ しゅういち</sup>滝沢秀一。お笑い<sup>わら</sup>芸人<sup>げいにん</sup>で、ゴミの清掃員だ。先日<sup>せんじつ</sup>、  
 不思議なゴミを見つけた。——電子レンジ<sup>でんしレンジ</sup>の中にぎっしりと土<sup>つち</sup>が  
 つまっている——どういうことなの!? なんなの、この状況<sup>じょうきょう</sup>?  
 なぞのゴミもあるけど、おく<sup>おく</sup>深い「ゴミの世界<sup>せかい</sup>」をのぞいてみよう。



(36) タヌキの<sup>ど</sup>土<sup>い</sup>居くん

富安陽子 著 大島妙子 画

福音館書店 56P 21cm 1,100 円 [日本文学]

3年生になったばかりのアカネちゃんは、いつもより早起きをして学校へ。ところが教室の中にだれかが……。一番のりはいつだって土居くん。また負けちゃうなんて。でも、アカネちゃんは首をかしげた。「土居くんて、あんなに茶色かったっけ？」



(37) はじめましてのダンネバード

工藤純子 作 マコカワイ 絵

くもん出版 200P 21cm 1,400円 〔日本文学〕

「ワ、タシの、名前が、エリサ・ビンカルマ、です」4年1組にネパールから転校生がきて、ぼくの隣の席になった。「こっちは、天宮蒼太っていうんだよ。」とゆうりがはずむような声で言う。わっ、どうしてぼくのことまで紹介するんだよ！



### (38) バスが来ましたよ

由美村嬉々 文 松本春野 絵

アリス館 40P 27 × 22cm 1,400 円 〔創作絵本〕

目の見えない男の人は、毎朝ひとりでバスにのり、仕事場まで通っている。集中して耳をすましていないと、バスが来たことに気づかず、のりそびれてしまったこともある。そんなある朝、小さなかわいい声がきこえてきた。「バスが来ましたよ」



### (39) ハッピー・クローバー！

高田由紀子 作 ゆうこ 画

あかね書房 157P 21cm 1,300 円 〔日本文学〕

4年生のおおばのご近所に、同じ年の風花と、その姉の実里が引っ越してきた。実里はダウン症。最初はとまどっていたおおばだったが、いつもニコニコと楽しそうな実里と接するうちに、ダウン症のことや実里のことが少しずつわかってきて……。



### (40) はりねずみのノート屋さん

ななもりさちこ 作 たかおゆうこ 絵

福音館書店 112P 22cm 1,500 円 〔日本文学〕

はりねずみのソントは、はずかしがりや。バラの花たばをくれたうさぎのトトンにノートをつくることをおもいつく。「わたすのが、はずかしいな。そうだ、ぼくからのプレゼントだってことは、ひみつにしよう」夜おそく、ポストにノートをいれた。



### (41) ヘそ茶の自由研究

万乃華れん 作 クボ桂汰 絵

佼成出版社 96P 22cm 1,300 円 〔日本文学〕

「こうなったら、茶ぐらい、ヘそでわかしたるわ！」4年生の夏休みの自由研究は、おじいちゃんの力強い言葉から始まった。ぼくは小さいやかんに水を入れた。むかひの部屋でおじいちゃん、もう、ヘそを出してあおむけにねている。「ほな、のせるで」



### (42) ぼくのちいばっぱ

長江優子 作 早川世詩男 絵

ゴブリン書房 144P 21cm 1,400 円 〔日本文学〕

土曜日の朝、事件がおきた。現場は、ぼく、服部至の家。かっっていた鳥のチーパをにがしてしまったのだ。すぐにさがしたけれど、見あたらない。チーパのことを考えると、胸がざわざわして、からだが熱くなってくる。チーパを見つけなきゃ！



(43) やまの<sup>どうぶつびょういん</sup>動物病院

なかがわちひろ 作・絵

徳間書店 64P 22cm 1,700円 〔日本文学〕

町はずれにある『ま<sup>まち</sup>ちの動物病院』。そこには、ま<sup>まち</sup>ちの先生と  
ねこのとらまるが<sup>お</sup>く<sup>あ</sup>ら<sup>い</sup>でいる。しんさつが<sup>お</sup>わ<sup>り</sup>、ま<sup>まち</sup>ちの先  
生がねむると、夜<sup>よ</sup>の間だけ『や<sup>あ</sup>まの動物病院』が<sup>あ</sup>ひ<sup>ら</sup>か<sup>れ</sup>る。「し  
ご<sup>と</sup>のじ<sup>か</sup>んだ」とらまるは、しんさつしつ<sup>し</sup>つ<sup>つ</sup>には<sup>い</sup>っ<sup>て</sup>い<sup>っ</sup>た。



(44) ラビットホッピング！ —うさぎがぼくのパートナー！？—

マーリン・エリクソン 作 きただいえりこ 訳 森山標子 画

理論社 175P 21cm 1,500 円 [外国文学]

妹が入院するため、ぼくはおじいちゃんの家<sup>いえ</sup>に連れて<sup>つ</sup>来<sup>こ</sup>られた。  
おじいちゃんのこと<sup>こと</sup>も、いとこのこと<sup>こと</sup>も、あんまり好き<sup>す</sup>じやない  
けれど、ママには楽しいと答<sup>こた</sup>えて電話<sup>でんわ</sup>を切<sup>き</sup>った。その時<sup>とき</sup>、まどの  
外<sup>そと</sup>で何<sup>なに</sup>かがぴょんぴょんはねながらや<sup>や</sup>ってく<sup>く</sup>るのが見<sup>み</sup>えた。



(45) ワニのガルド

おーなり由子 作・絵

偕成社 96P 21cm 1,300 円 [日本文学]

ヒナちゃんは3年。ひっこしたばかりで、まだなかのいい子  
もいない。朝、「学校に、いきたくない」こころの中でそう思  
いながら、みどり色の歯ブラシをぱくんと口にくわえると――。  
ガゴゴゴゴゴ。なんと、その歯ブラシは、小さい"ワニ"だった。



◆小学 5・6 年から◆

(46) <sup>あめ</sup> <sup>ひ</sup> <sup>す</sup> <sup>ひと</sup> 雨の日は好きな人

佐藤まどか 著

講談社 217P 20cm 1,400 円 〔日本文学〕

おかあさんが結婚し、6年生のわたしにはおとうさんとおねえちゃん<sup>おねえちゃん</sup>ができた。でもおねえちゃんはずっと入院してるから、まだ一度も会ったことがない。おとうさんもおかあさんもしょっちゅう病院へ行き、わたしは週3回一人で夕食。これが家族なの？



(47) お江戸子ども捕物帳

天沢彰 作 水野ぶりん 画  
文研出版 160P 22cm 1,400円 〔日本文学〕

みんなのまとめ役、栄太郎、母に代わり家事をするがんばり屋の絹。魚屋を目指す元気な江戸っ子、源吉。のんびりやだが剣術の腕は道場一の梅之助達4人組。ある日、「お玉が池の幽霊」の正体を調べに出た絹が、何者かに捕らわれた。助けて、栄太郎、みんな！！



(48) 金曜日のヤマアラシ

蓼内明子 著 中田いくみ 装画  
アリス館 220P 20cm 1,400円 〔日本文学〕

6年のウタのクラスにやってきた転校生の桐林 敏は、言い方がきついし、みんなに話しかけられてもかなりそっけない。いつもイライラしてる感じ。うっかり近寄ったら、さされそう。「あのトゲトゲは、まるでハリネズミ……いや、ちがうな」



(49) このままじゃ絶滅しちゃう！？ホッキョクグマ、大ピンチ！

ケイティ・デインズ 文 ロイシーン・ハーシー 絵 岡田好恵 訳  
Gakken (学研プラス) 47P 26cm 1,500円 〔地球温暖化〕

子どもたちに手紙がとどいた。「助けて！ぼくたち、とてもこまってるんだ。わけを話しに、そっちへ行くよ」ホッキョクグマとのきんきゅう会議が始まった。すみかの氷がとけ始め、狩りができず、うえ死にすることに。なぜ、北極の氷がとけ始めているの？



(50) じいちゃんの山小屋

佐和みずえ 作 カシワイ 画  
小峰書店 195P 20cm 1,500円 〔日本文学〕

「おれ、父さんと暮らしたくない！」6年生の航太は、東京から四国のじいちゃんちへ。「これから山に行くぞ。荷物を持って、ついてこい」そこは電気もない、トイレは草むら、スマホも圏外の山小屋。シイタケ栽培にミツバチの飼育、何かとこき使われ……。



(51) 空と大地に出会う夏

濱野京子 作 しらこ 絵  
くもん出版 184P 20cm 1,300円 〔日本文学〕

楽しそうに弾いてなんて意味不明だ。楽譜どおり弾いているのに。ピアノのレッスンを終え、駅にむかいながらぼくはため息をついた。改札の前から叫ぶような声。となりの6年3組の海空良だ。目が合ったとたんぼくに向かって叫んだ。「お金貸して！」





## (52) 東京タワーに住む少年

山口理 作 ふすい 絵

国土社 223P 20cm 1,400 円 〔日本文学〕

東京タワーの真下にあるスタジオ。そこには設計図には描かれていない秘密のエレベーターがある。科学オタクの6年生の健人はそれを使い、祖父の“研究室”にやってきた。「じいちゃん。頼まれてた『ベアリングレスモーター』の資料、見つけてきたよ」



## (53) ばーちゃん

次良丸忍 作

金の星社 175P 20cm 1,500 円 〔日本文学〕

最新型映像投影機「シップ」に、2年前に亡くなったおばあちゃんのデータを入力するのがぼくのバイト。シップを起動すると、そこにはリアルなおばあちゃんの姿。母さんの呼びかけにゆっくりと顔を向け、「……ワタシノナマエハ、コウサカユミエ」



## (54) はっこう（発酵）—地球は微生物でいっぱい—

小川忠博 写真・文

あすなろ書房 48P 30cm 2,500 円 〔発酵〕

しょう油やみそ、納豆などの食べ物ができるのは、微生物がはたらいて『発酵』させてくれるから。地球はカビや酵母、細菌とよばれる微生物であふれている。土や水の中にいるだけでなく、私たちのおなかの中にもいて、命やくらしをささえているよ。



## (55) はれ晴れ池をさがして

宇佐美牧子 作 結布 絵

ポプラ社 191P 21cm 1,300 円 〔日本文学〕

同じクラスのカイが見ていた絵で、おばあちゃんに行った「はれ晴れ池」を思い出した5年生の七美。池に心からのお願いをするとかなえてくれるという。お母さんのなやみをお願いしたら、かなえてくれるかな？ 3歳の弟がしゃべれるようになれば……。



## (56) フードバンクどろぼうをつかまえろ！ 秘密の大作戦

オンジャリ Q. ラウフ 著 千葉茂樹 訳 スギヤマカナヨ 画

あすなろ書房 127P 20cm 1,400 円 〔外国文学〕

「あと一日がまんすれば『銀行』で、ひつようなものが手にはいる……」ぼくのおなががグーグー鳴った。つぎの日、ぼくたち家族はフードバンクっていう「食べ物の銀行」で食べ物をもらう。ただどさいきん、フードバンクどろぼうのことを聞いたんだ。





(57) <sup>びょういんとしよかん あお そら</sup>病院図書館の青と空

令丈ヒロ子 著 カシワイ 装画  
講談社 220P 20cm 1,400 円 〔日本文学〕

読書が大好きな 5 年生の空花は、転校して 2 週間たたないうちに入院。看護師さんが教えてくれた病院図書館をのぞくと、いっきに気持ちが上がった。『長くつ下のピッピ』のクッキーを作る場面のさし絵を見ていると、ページの間からあまいにおいが……。



(58) ラベンダーとソプラノ

額賀滯 作 いつか 絵  
岩崎書店 224P 22cm 1,500 円 〔日本文学〕

「真子、パートリーダーとしてどうするつもり？」全日本合唱コンクールで金賞を取らなきゃというプレッシャーが、最上級生のわたしにのしかかる。入学のときに聴いた合唱クラブの歌声は、いい香りのするラベンダー色の風が吹いたみたいだったのに。



(59) リメイク！

あさだりん 作 いつか 絵  
フレーベル館 248P 20cm 1,400 円 〔日本文学〕

「こいつ、手芸クラブだぜ」男子メンバーのひかるがバカにされるのを聞いて、わたしはカチンときた。6 年生になっておしつけられたクラブ長だけど、男子とか女子とか外側のことで決めつけられたくない。「手芸クラブすごいって言わせてみせるからね！」



(60) <sup>わす</sup>忘れものの遊園地

久米絵美里 著 かわいみな 絵  
アリス館 264P 20cm 1,400 円 〔日本文学〕

うっわ、どうしよ。また、忘れた！あのプリント。6 年にもなると先生に怒られたのに。取りに帰るか？いや、遅刻する。遅刻して怒られるか、忘れもので怒られるか。どっちなんだ！そのとき、ふしぎなじいさんが……。 「忘れもの、ですか？」





(66) ソノリティ ―はじまりのうた―

佐藤いつ子 著

KADOKAWA 253P 20cm 1,500 円 [日本文学]

「♪はじめはひとり孤独<sup>こどく</sup>だった ふとした出会いに希望が生まれ 新しい本当のわたし 未来へと歌は響<sup>ひび</sup>きわたる♪」クラス対抗の合唱コンクール。吹奏楽部というだけで指揮を任された早紀<sup>さき</sup>に、本番直前思いもよらないアクシデントが……。



(67) 手で見えるぼくの世界は

桒崎茜 作 酒井以 装画・挿絵

くもん出版 280P 20cm 1,400 円 [日本文学]

どうしてぼくが。どうしてぼくたちだけが。目が見えていたら、こんな思いをしなくていいのに……。視覚支援学校に通う佑<sup>たすく</sup>は、避けてきた白杖<sup>はくじょう</sup>を使った歩行練習を始める。ある事件がきっかけで学校に行けなくなった双葉<sup>ふたば</sup>に会いたくて。



(68) 母の国、父の国

小手鞠るい 著

さ・え・ら書房 171P 20cm 1,400 円 [日本文学]

アメリカで働くわたしにかかってきた日本からの電話。それは少女からのSOS。お願い、もう一度かけてきて。あなたに話したいことがいっぱいあるの。そっと目を閉じ、わたしは思い出す。手でふれたら、やけどしてしまいそうな遠い日<sup>きおく</sup>の記憶。



(69) ぼくたちのスープ運動 ―小さな思いやりが世界を変える！―

ベン・デイヴィス 作 渋谷弘子 訳

評論社 368P 19cm 1,600 円 [外国文学]

ぼくはジョーダン。リオとの約束を果たすため、だれかにいいことをする「ミツヴァー」を実行中。ママが持たせてくれたスープをホームレスの人にあげたことで、スープ運動が広がる。ママの心配をよそに、ジョーダンの地道な挑戦<sup>ちようせん</sup>が始まる――。



(70) ぼくたちはまだ出逢っていない

八束澄子 著

ポプラ社 295P 20cm 1,400 円 [日本文学]

家に居づらいうち2の美雨<sup>みう</sup>は、漆<sup>うるし</sup>を用いた金継ぎ<sup>きんぎ</sup>の茶碗<sup>ちやわん</sup>に心を奪<sup>うば</sup>われる。同級生の暴力に耐える中3の陸<sup>りく</sup>は、傷だらけになりながらもすっと立つ漆<sup>うるし</sup>の木に自分を重ねた。2人は、傷から新しい美を生み出す漆芸修復<sup>しつげい</sup>の世界に引き込まれていく。



## (71) 星屑すぴりっと

林けんじろう 著 いとうあつき 装画  
講談社 206P 20cm 1,400 円 〔日本文学〕

「映画を観たいのう」難病を発症してから無気力だった、大好きないとこのせいちゃん。彼が学生時代に脚本を書いた『わがままスピリット』。なんとしてもこの映画を観せてあげたい。イルキとハジメは広島から京都行き電車に飛び乗った。



## (72) 魔女だったかもしれないわたし

エル・マクニコル 著 櫛田理絵 訳  
PHP 研究所 238P 20cm 1,400 円 〔外国文学〕

「何世紀も前、わたしのような人間は、魔女といわれてもおかしくありませんでした。ただ『人とちがう』というだけで……」わたし、アディは11歳。類語辞典とサメが好き。でも周りにはなかなか理解されないの。わたし「自閉」なんだって。



## (73) マスク越しのおはよう

山本悦子 著 田中海帆 絵  
講談社 302P 20cm 1,600 円 〔日本文学〕

「マスクは、魔法のアイテムなんだよ」中学校に入学しても、人前でマスクを外せないチリ。マスクは、わたしの体の一部。みんなも認めてくれてると思ってたのに。みんながマスクをすればいいのに。2020年、チリが求めている世界が始まった。



## (74) 六四五年への過去わたり ―平城の氷と飛鳥の炎―

牧野礼 著 七原しえ 画 寺崎保広 解説  
くもん出版 272P 20cm 1,500 円 〔日本文学〕

時は奈良時代。平城京では舎人親王のもと史書の編纂作業が進められていた。史書を編むには、過去をよく知る必要がある。だが、ある重要な資料がない。そこで舎人親王は言祝に「とくべつな務め」を命じ、資料を手に入れようとするのだが……。



## (75) わたしのアメリカンドリーム

ケリー・ヤン 著 田中奈津子 訳  
講談社 303P 20cm 1,600 円 〔外国文学〕

貧乏なんていや。差別されるのもいや。私ミア9才。パパは自由を求めて中国からアメリカにやってきたけれど、ここには無料のものなんてない。山積みの問題もアイデア次第で切り抜けてみせる！でも、どうすれば貧乏から抜けだせる？



## 選 定 委 員

大 野 裕 美	(元高木幼稚園)	清 水 鮎 美	(春風幼稚園)
福 田 むつみ	(越木岩幼稚園)	藤 川 優 子	(大社幼稚園)
堀 内 知 愛	(あおぞら幼稚園)	澤 田 準 子	(夙川小学校)
久 島 典 子	(春風小学校)	増 田 千 勢	(広田小学校)
参 河 朗 子	(津門小学校)	柚 木 智 子	(深津小学校)
小 林 陽 子	(用海小学校)	小 丸 麻 里	(広田小学校)
塩 野 恵 子	(浜脇小学校)	菅 谷 旬美子	(平木小学校)
西久保 蓉 子	(鳴尾東小学校)	上 田 綾 子	(塩瀬中学校)
坂 本 文 枝	(甲陵中学校)	辻 一 江	(上ヶ原中学校)
松 井 智 華	(深津中学校)	井 上 千 恵	(北口図書館)
大 江 彰 誉	(鳴尾図書館)	小 林 亜希子	(北口図書館)
西 尾 美 和	(中央図書館)	橋 本 敦 子	(中央図書館)
樋 口 亜希子	(中央図書館)	深 川 冴 起	(北口図書館)

表紙 澤 利政・山口 志興

### 読んでごらんおもしろいよ 2023

令和 5 年 (2023 年) 7 月 1 日発行

編集・発行 西宮市立図書館

発 行 所 西宮市産業文化局生涯学習部読書振興課

〒 662-0944 西宮市川添町 15-26

TEL.0798-33-0189 FAX.0798-33-2266

西宮市立図書館ホームページ <https://tosho.nishi.or.jp>

共に学び・考え・行動する消費者市民社会の実現をめざして

西宮市では、  
自分で考え、行動できる消費者の  
育成を目指し、消費者教育を推進します。

●契約は慎重に!! おがしいなと思ったら、ご相談ください●

西宮市消費生活センター【相談専用】 TEL 0798-64-0999

または 消費者ホットライン 188(いやや)

子ども安全メール from 消費者庁

子どもの事故に関する情報や豆知識をあなたの携帯電話に配信します!

登録はコチラ➡

消費者庁携帯サイト  
二次元コード



